

詰連珠ドリル

【中級編②】

サンプル

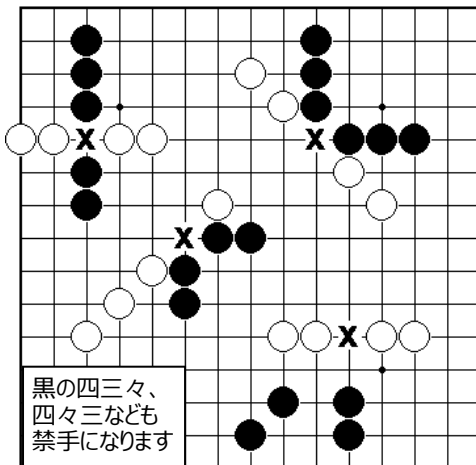
出題：河村典彦九段

2023年12月1日発行

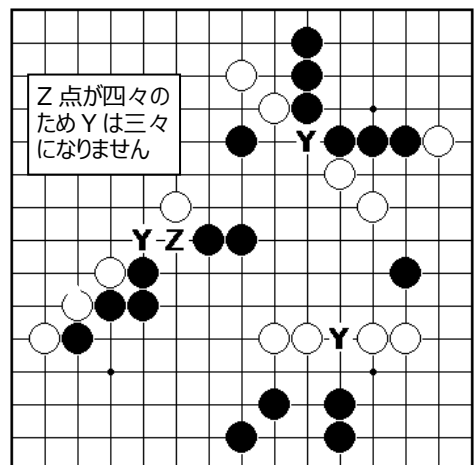
【連珠のルール】

- 連珠盤（15×15）を使います
- 黒石と白石を使います
- 黒が先手、白が後手で交互に打ちます
- 黒は最初に中央の「天元」に打ちます
- 縦、横、斜めのいずれかに早く「五連」を並べた方が勝ちです
- 黒にのみ、三々、四々、長連の禁手があります
白は黒に禁手を打たせても勝ちです

【禁手の例】

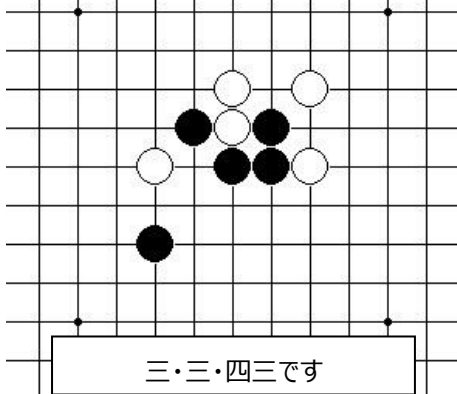


【禁手にならない例】



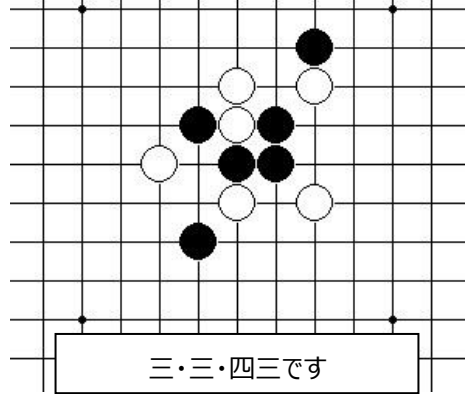
詰連珠ドリル、中級編①に引き続き 100 問作成しました。①と同じく基本的には三・三・四三で勝つ問題ですが、防ぐ側のことも考えることが多くなるため、深い読みが必要となってきます。この問題が解けるようになれば、実戦で役に立ようになります。勝ちに到達するまでの順が長く、三の順番が問題になってくる場合が多いので、読みの訓練に役に立ちます。間違えた問題は、繰り返し解いていただくことをお勧めします。今回も黒先問題を 70 問、白先問題を 30 問合計 100 問をご用意しました。各問題にヒント、解答にはちょっとした解説をつけていますので、出題者の意図をぜひ理解してください。間違えた時は、どこの部分が間違っていたか理解することで上達します。では、詰連珠の世界、楽しんでください！

第 1 問【黒先】



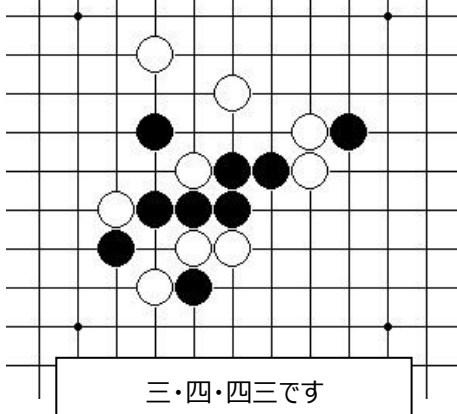
三・三・四三です

第 2 問【黒先】



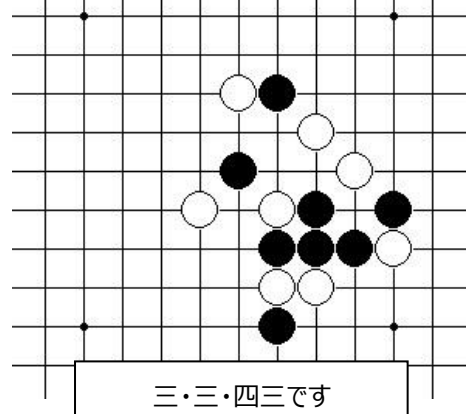
三・三・四三です

第 3 問【黒先】



三・四・四三です

第 4 問【黒先】



三・三・四三です

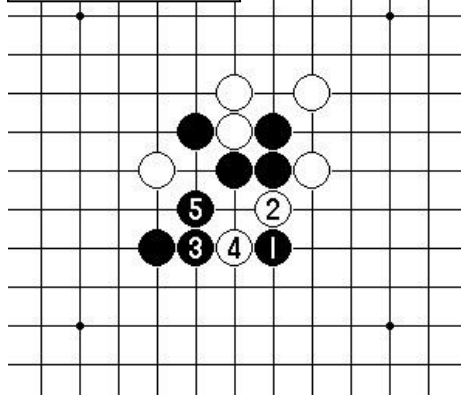
詰連珠を解くコツ

- ・四ができる場所に注目する
- ・ノリ手（止めた手が四や三になる手）や禁手に注意する
- ・トビ四、トビ三、斜めの筋は見づらいので特に意識して見る
- ・わかったと思っても、頭の中で再度確認する

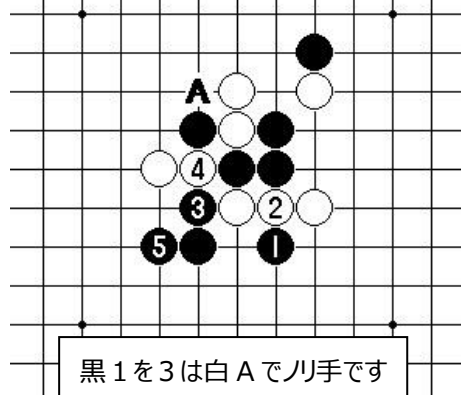
中級編は結構難しい問題が多いですが、勝ち筋をくまなく探して手順を考えると勝ちが見えてきます。ただし、ノリ手には注意が必要です。斜めのノリ手などは見えにくくなっていますので、見落とさないように。間違えた問題はぜひ再度解いてみてください。

● 解答

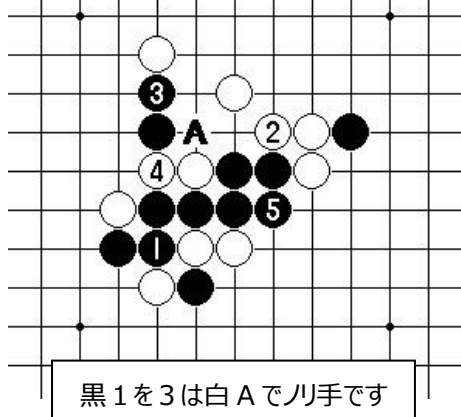
第 1 問【黒先】



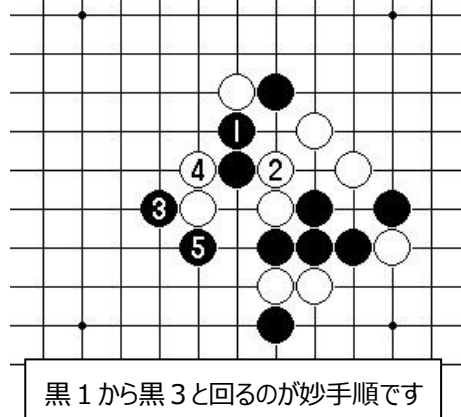
第 2 問【黒先】



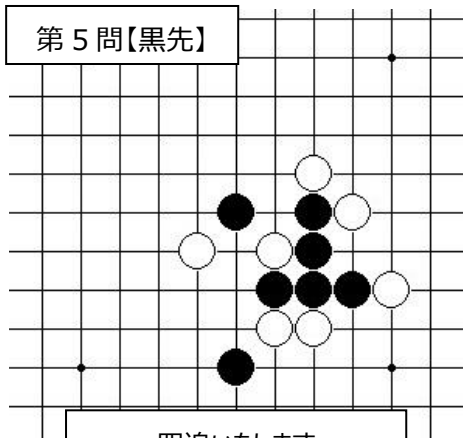
第 3 問【黒先】



第 4 問【黒先】

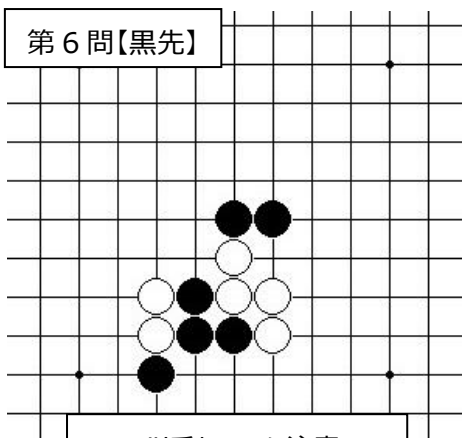


第5問【黒先】



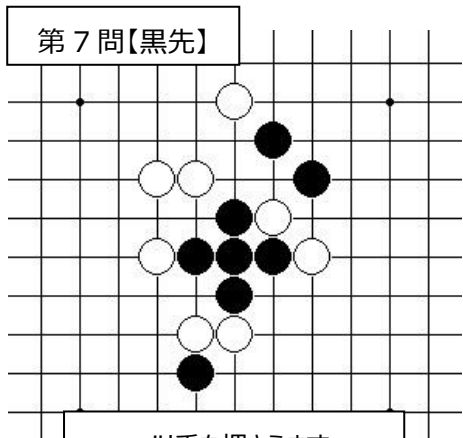
四追いをします

第6問【黒先】



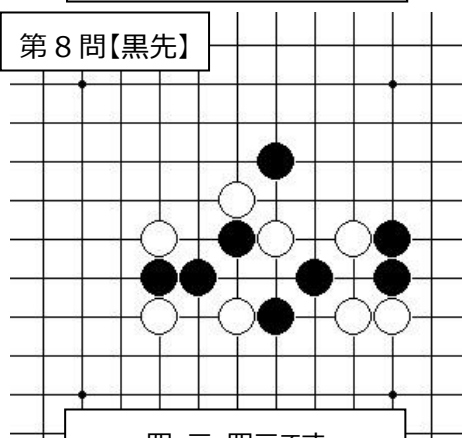
ノ手と三々に注意

第7問【黒先】



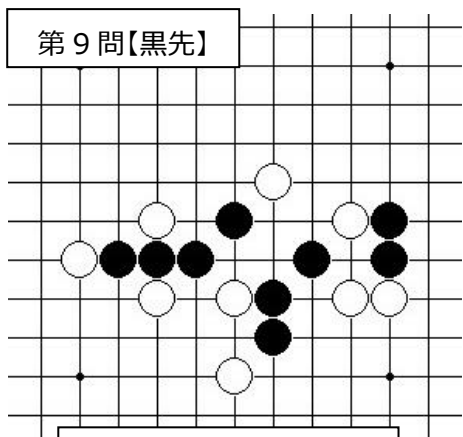
ノ手を押さえます

第8問【黒先】



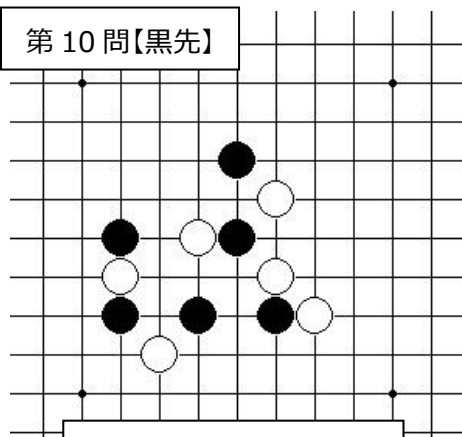
四・三・四三です

第9問【黒先】



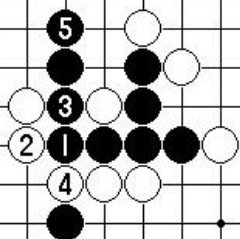
三後四追いです

第10問【黒先】

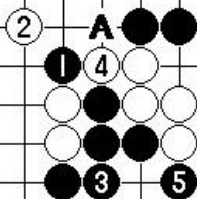


四追いで勝ちます

第 5 問【黒先】

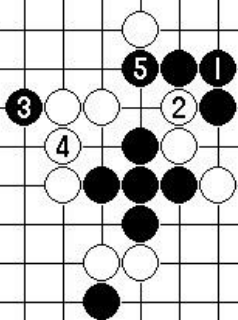


第 6 問【黒先】



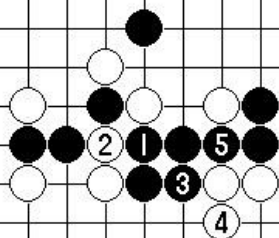
黒 1 で 2・A はノリ手です

第 7 問【黒先】

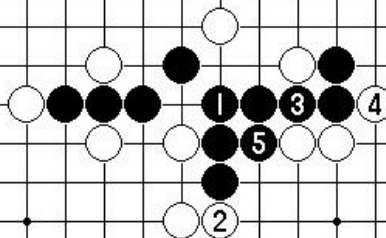


黒 3 とノリ手を押さえる手が必要

第 8 問【黒先】



第 9 問【黒先】



第 10 問【黒先】

